

NYマーケットレポート（2014年12月8日）

NY市場では、米国の主要な経済指標の発表がなく新規材料に乏しい中、最近の急激な円安を背景に利益を確定するための円買い戻しの動きが続いており、ドル円・クロス円は序盤から軟調な動きとなった。その後は、原油価格の下落を背景に、エネルギー関連株を中心に株価が下げ幅を拡大する動きとなったことを受けて、投資家のリスク回避の動きが強まり、円を買う動きが優勢となった。ただ、終盤には株価が下げ幅を縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円も値を戻す動きとなった。

## 2014/12/8 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	121.35	121.85	121.26
EUR/JPY	148.88	149.78	148.86
GBP/JPY	188.68	189.70	188.64
AUD/JPY	100.33	101.20	100.31
EUR/USD	1.2269	1.2304	1.2261

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	121.36	120.92
EUR/JPY	148.92	148.27
GBP/JPY	189.28	188.44
AUD/JPY	100.64	100.18
EUR/USD	1.2280	1.2247

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17935.64	+15.19
ハンセン指数	24047.67	+45.03
上海総合	3020.26	+82.61
韓国総合指数	1978.95	-7.67
豪ASX200	5372.71	+37.38
インドSENSEX指数	28119.40	-338.70
シンガポールST指数	3297.84	-26.55

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6672.15	-70.69
仏CAC40	4375.48	-44.00
独DAX	10014.99	-72.13
ST欧州600	348.61	-2.36
西IBEX35指数	10805.20	-95.50
伊FTSE MIB指数	19951.15	-136.08
南ア 全株指数	49590.20	+83.61

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	120.79	121.13	120.21
EUR/JPY	148.66	148.81	148.19
GBP/JPY	188.98	189.22	188.47
AUD/JPY	100.13	100.53	99.86
NZD/JPY	92.45	92.72	92.29
EUR/USD	1.2308	1.2344	1.2248
AUD/USD	0.8289	0.8315	0.8285

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17852.48	-106.31
S&P500	2060.31	-15.06
NASDAQ	4740.69	-40.06
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14144.17	-329.53
🇧🇷 ボルサ指数	42941.83	-288.51
🇲🇽 ボベスパ指数	50274.07	-1718.82

### 12/9 経済指標スケジュール

08:50	【日】11月マネースtockM2
09:01	【英】11月BRC小売売上高
09:30	【豪】11月NAB企業信頼感指数
09:30	【豪】11月NAB企業景況感指数
15:00	【日】11月工作機械受注
15:45	【スイス】11月失業率
16:00	【独】3Q労働コスト
16:00	【独】10月貿易収支
16:00	【独】10月経常収支
16:45	【仏】10月財政収支
16:45	【仏】10月貿易収支
18:30	【英】10月鉱工業生産
18:30	【英】10月製造業生産高
20:00	【南ア】10月製造業生産
21:30	【米】11月NFIB中小企業楽観指数
23:00	【メキシコ】11月消費者物価指数
00:00	【英】11月NIESR GDP予想
00:00	【米】12月IBD/TIPP景気楽観指数
00:00	【米】10月卸売在庫
00:00	【米】10月卸売売上高
00:00	【米】10月JOLT労働調査[求人件数]

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1194.90	+4.50
NY 原油	63.05	-2.79
CME コーン	390.25	-4.75
CBOT 大豆	1043.75	+7.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.63%	0.64%
3年債	1.06%	1.07%
5年債	1.67%	1.68%
7年債	2.02%	2.05%
10年債	2.26%	2.30%
30年債	2.91%	2.97%

### 12/9 主要会議・講演・その他予定

- ・ EU経済・財務相理事会
- ・ 米3年債入札

(出所: SBILM)

## NY 市場レポート

22:00

ドル/円 121.12 ユーロ/円 148.41 ユーロ/ドル 1.2255

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6687.30	-55.54	ダウ INDEX FUTURE	17905	-48
仏 CAC40	4386.15	-33.33	S&P500 FUTURE	2069.70	-6.40
独 DAX	10035.26	-51.86	NASDAQ FUTURE	4299.75	-13.50

(出所: SBILM)

22:00

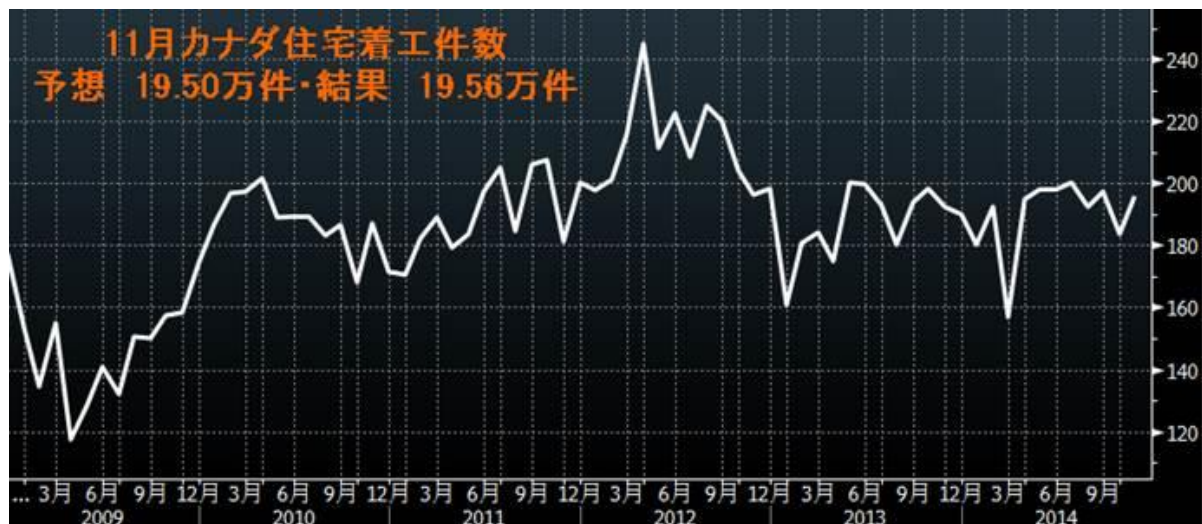
マクドナルド

11月の世界既存店売上高は2.2%（予想は-1.7%）、米既存店売上高は-4.6%（予想は-1.9%）

22:13

◀ 経済指標の結果 ▶

11月カナダ住宅着工件数 19.56万件（予想 19.50万件・前回 18.37万件）  
 前回発表の18.36万件から18.37万件に修正

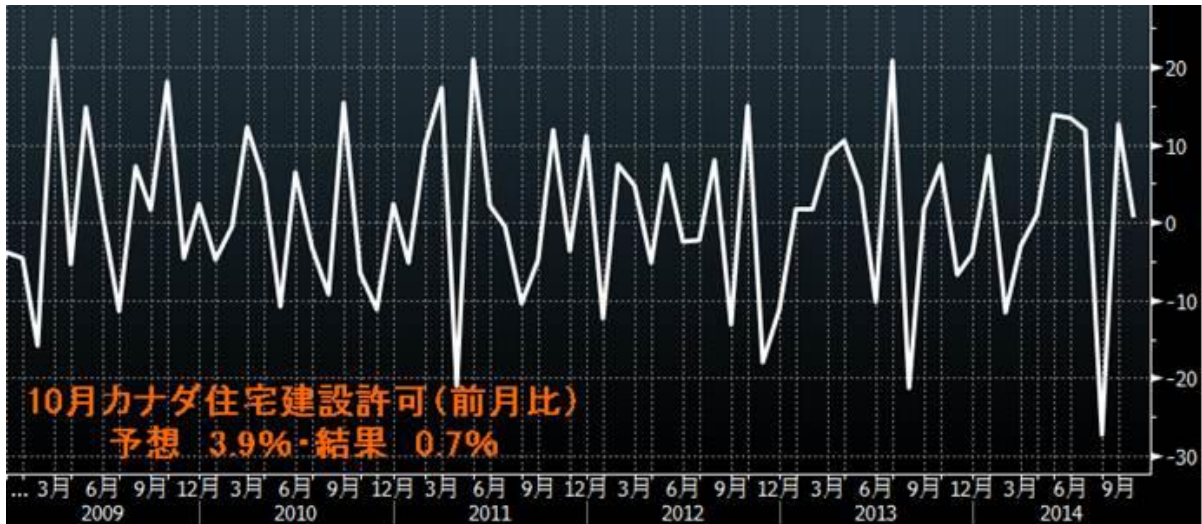


(出所: ブルームバーグ)

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

10月カナダ住宅建設許可(前月比) 0.7% (予想 3.9%・前回 12.5%)  
 前回発表の12.7%から12.5%に修正



(出所:ブルームバーグ)

◀ ポイント ▶

OECD(経済協力開発機構)が発表した加盟国の景気先行指数は100.4と、前月から横ばいとなった。欧州経済は引き続き減速が見込まれるが、他の主要国の見通しはおおむね安定。英国は比較的高い水準からの鈍化が見込まれている。ドイツ、イタリア経済は失速する見通し。フランスは成長の勢いが安定しているという。ドイツの先行指数は99.5で、前月の99.7から小幅低下。イタリアも101.1で、前月の101.2から小幅低下した。米国、カナダ、中国、ブラジルは引き続き安定した成長の勢いが見込まれている。日本経済は暫定的に改善の兆しが見られるが、ロシア経済は一時的に勢いが鈍っているという。インドは主要国で唯一、成長の勢いが明確に増した。

23 : 33

米主要株価

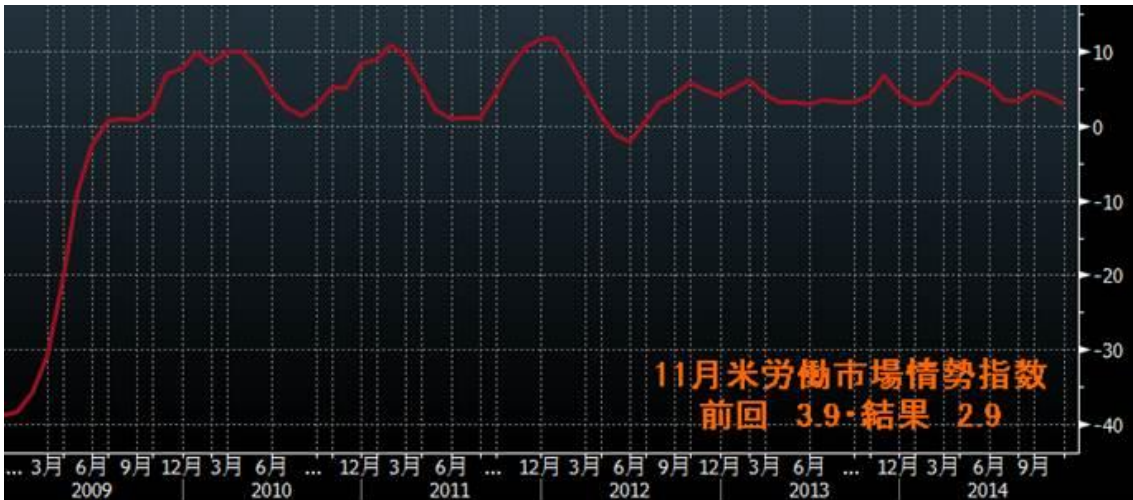
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17905.14	-53.65
ナスダック	4769.36	-11.40

(出所:SBILM)

0 : 12

◀ 経済指標の結果 ▶

11月米労働市場情勢指数 2.9 (前回 3.9)  
 前回発表の4.0から3.9に修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

◀ 労働市場状況指数 (LMCI) ▶

11月・10月・9月・8月・7月・6月・5月  
 労働市場状況指数・2.9・3.9・4.5・3.2・3.5・5.5・6.6

0 : 25

ECBのABS(資産担保証券)購入額は、5日時点で6億100万ユーロ。資産購入プログラムの下で決済済みのカバード債の購入額は209億ユーロとなったとウェブサイトで発表した。

0 : 30

◀ NY株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、新たな手掛かり材料に乏しい中で、高値警戒感による利益確定売りが出る一方、米景気回復への期待感による買いが出るなど、序盤から売り買い交錯するもみ合いの展開が続いている。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で62ドル安まで下げたものの、その後プラス圏まで値を戻している。

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 米FRBが発表した11月の労働市場状況指数(LMCI)は、2.9となり、前月3.9から1.0ポイント低下した。雇用の改善・悪化の境目になるゼロは2年5ヵ月連続で上回った。10月が当初発表の4.0から3.9ポイントに下方修正される一方、9月は4.0から4.5ポイントへ上方修正された。労働市場情勢指数は、19種類の統計を基に算出される。失業率と民間部門の雇用者に重点が置かれており、労働参加率や賃金、雇用・解雇なども考慮される。FRBは指数を公表せず、毎月の変化率のみ発表する。

(2) コンファレンスボード(全米産業審議会=CB)が発表した11月の雇用トレンド指数は123.24と、前月比+0.4%となった。前年同月比では+6.1%となった。10月の指数は当初発表の123.09から122.80に下方改定された。CBは「雇用トレンド指数は11ヵ月連続で上昇した。最近の確実な改善は、来年初めまで堅調な雇用増加が続く見通しであることを示唆している」とした。雇用トレンド指数は、CB消費者信頼感指数の就労関連指数や週間失業保険給付申請件数など、雇用に関する8つの指数を基に算出する。

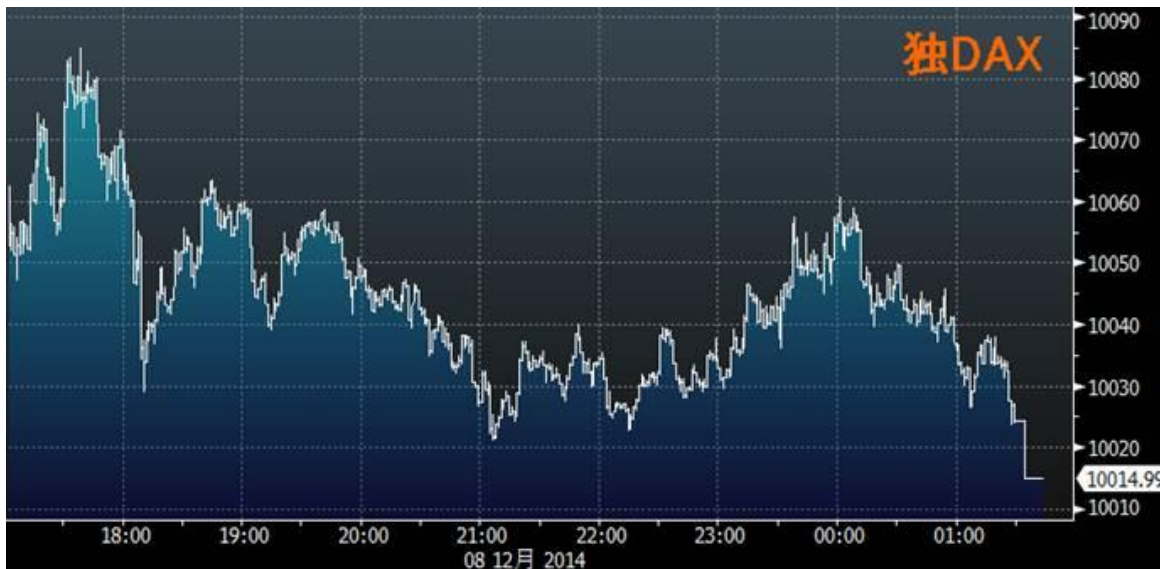


欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6672.15	-70.69
仏 CAC40	4375.48	-44.00
独 DAX	10014.99	-72.13
ストック欧州 600 指数	348.61	-2.36
ユーロファースト 300 指数	1395.44	-9.73
スペイン IBEX35 指数	10805.20	-95.50
イタリア FTSE MIB 指数	19951.15	-136.08
南ア アフリカ全株指数	49590.20	+83.61

(出所: SBILM)

#### 《欧州株式市場》

欧州株式市場は、中国の経済指標の悪化や、ユーロ圏経済の先行き懸念を背景に、主要株価は下落となった。



(出所: ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 17948.47 (-10.32)、 S&P500 2073.17 (-2.20)、 ナスダック 4780.43 (-0.32)

#### 《欧州のポイント》

①CDS (クレジット・デフォルト・スワップ) 市場では、ウクライナの債務保証コストが日中取引ベースで5年ぶりの高水準をつけた。ウクライナの期間5年のCDSスプレッドは1794bpと、前週末の1732bpから拡大した。IMF (国際通貨基金) の代表団は、4月に合意した170億ドルの金融支援をめぐりウクライナ政府と協議するため、首都キエフを今週訪れる予定。ウクライナ中銀は先週末に、ロシア産ガスの代金支払いや通貨防衛のコストが要因で、外貨準備が11月に21%減少し、10年ぶりの低水準をつけたと発表している。

②ポーランド中銀の金融政策委員は、主要政策金利を100bp引き下げる必要があるとの認識を示した。景気の回復力が鈍く、インフレ目標の2.5%を近く達成できる見込みがないためとしている。同委員は、「今日、成長の急速な加速や、速やかなインフレ目標の達成を予想する人は誰もいないだろう」と指摘。インフレ目標の達成は早くても2016年以降になるとの見方を示した。同委員は「現時点で私には100bpが最も適切と思える。伝統的な政策手段

を変えずに、資金調達コストを大幅に下げることができる」と述べた。同委員は消費者物価が低下し、経済成長率が潜在力を下回っている局面で利下げを見送るのは中銀の規定に反すると思えるとの認識も示した。

③ 欧州委員会が財務相会合向けに準備した文書によると、ユーロ圏のSRF（単一破綻処理基金）への2015-2024年の拠出額は、フランスとドイツの銀行が大きな比率を占める見通し。域内銀行の拠出額については4つの算出方法があり、財務相らは会合で、この中から算出方法を決定する。SRFは銀行が資金を拠出し、最終的に2024年に域内の10万ユーロ以下の銀行預金すべての1%に相当する水準に到達することを目指す。欧州委は、この総額について557億ユーロ（683億2000万ドル）になるとしている。

④ 12月のユーロ圏投資家センチメント指数は、-2.5と市場予想の-10.5を大幅に上回り、前月の-11.9から大きく改善した。ECB（欧州中央銀行）が来年、追加緩和に踏み切るとの期待が背景にある。期待指数は、前月の-2.0から+12.0に急上昇となり、12年前の調査開始以来、3番目の大幅な上昇を記録した。

⑤ フランス中銀は、第4・四半期GDP成長率が+0.1%との予測を維持した。第3・四半期GDPは+0.3%で、第2・四半期の-0.1%からプラスに転じた。月次業況調査では、工業部門の企業景況感を示す指数は11月が97となり、10月の96からやや上昇した。サービス部門の企業景況感指数は横ばいの93となった。なお、10月の指数は速報値の94から93に下方修正された。

⑥ ギリシャ議会は、2015年の予算案を承認した。メイマラキス議長の発表によると、300議席の議会で290人が採決し、賛成155人、反対134人で予算案は可決。1人は見解を表明しなかった。予算案は15年の成長率を2.9%と想定。プライマリーバランスはGDPのほぼ3%の黒字を見込む。ギリシャは現行の救済プログラムからの最終資金約70億ユーロ（約1兆400億円）を受け取るためEU欧州委員会とECB、IMFで構成するトロイカの審査に合格しなければならないが、トロイカはギリシャの予算案に疑義を呈し、9月に始まった審査は滞っている。ユーロ圏の財務相らは、今年末で終了する現行のギリシャ救済プログラムを技術的に延長するかどうかについて協議する。

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、中国の11月の輸出入が低調だったほか、日本の7-9月期のGDP改定値が下方修正となったことで世界経済の減速懸念が強まり、長期債を中心に安全資産とされる米国債の買いが先行した。ただ、前週末の米雇用統計を受けて利上げが前倒しされるとの思惑もあり、短期債は軟調に推移した。

午前の利回りは、30年債が2.94%（前週末2.96%）、10年債が2.29%（2.31%）、7年債が2.05%（2.06%）、5年債が1.69%（1.68%）、3年債が1.08%（1.07%）、2年債が0.65%（0.64%）。

2:45

◀ 要人発言 ▶

ロックハート・アトランタ連銀総裁

- ・ 「利上げは2015年中盤もしくはそれ以降に」
- ・ 「利上げに対して忍耐を、引き上げペースに注意」
- ・ 「欧州と日本の弱さが見通しにリスク」

4:40

NY金は、中心限月が前日比4.50ドル高の1オンス=1194.90ドルで取引を終了した。

5:30

NY原油は、中心限月が前日比2.79ドル安の1バレル=63.05ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1194.90	+4.50
NY 原油	63.05	-2.79

(出所: SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中国の 11 月の輸出入が冴えなかったほか、日本の 7-9 月期の GDP 改定値が下方修正となったことで世界景気の先行き懸念が広がり、比較的 안전한資産とされる金を買われた。また、欧米の株価が下落したことも支援材料となった。



(出所:ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中国の 11 月の輸出入が低調だったことや、日本の 7-9 月期の GDP 改定値が下方修正されたことから、世界景気の減速でエネルギー需要が減少するとの懸念から軟調な動きとなった。また、イラクがアジアと米国向けの原油価格を引き下げたと伝わったことも圧迫要因となった。一時、1 バレル=62.78 に下落し、2009 年 7 月下旬以来、約 5 年 4 ヶ月ぶりに 63 ドル台を割り込んだ。中心限月の終値ベースでは 2009 年 7 月中旬以来の安値水準となった。



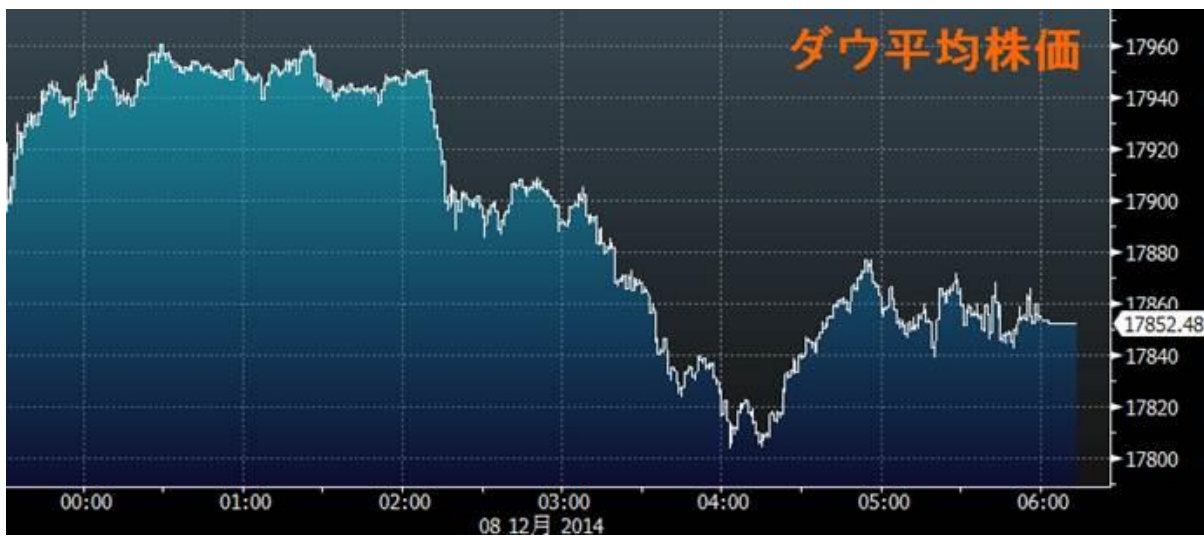
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17852.48	-106.31	17960.56	17804.28
S&P500 種	2060.31	-15.06	2075.78	2054.27
ナスダック	4740.69	-40.06	4793.24	4722.91

(出所: SBILM)

#### 《米株式市場》

米株式市場は、新たな手掛かり材料に乏しい中で、高値警戒感による利益確定売りが出る一方、米景気回復への期待感による買いが出るなど、序盤から売り買い交錯するもみ合いの展開となった。しかし、その後は下げ幅を拡大する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなったものの、その後は値を戻す動きとなった。しかし、午後に入ると下げ幅を拡大する動きが優勢となり、一時前日比で154ドル安まで下げる場面もあった。



(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	120.79	121.13	120.21
EUR/JPY	148.66	148.81	148.19
GBP/JPY	188.98	189.22	188.47
AUD/JPY	100.13	100.53	99.86
NZD/JPY	92.45	92.72	92.29
EUR/USD	1.2308	1.2344	1.2248
AUD/USD	0.8289	0.8315	0.8285

(出所: SBILM)

#### 《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、目新しい材料がない中で、最近の急激な円安ドル高で当面の利益を確定するためのドル売り・買いが先行した。その後、株価が下げ幅を拡大する動きとなったことから、投資家のリスク回避の動きが強まり、ドル円クロス円は軟調な動きとなった。ただ、終盤にかけては値を戻す動きが優勢となった。





(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。